

第 3 回総合計画審議会におけるご意見等について

【重点目標 1】 少子化対策と次代を担う人材の育成

施策番号	審議会における意見	調整内容（回答）
1-1-1 計画書 P32～33	婚活支援について、なぜ結婚しないのかというところにアプローチをする施策がない。例えば、伊豆市の法人に対して子育て世代のママ達を応援する具体施策をしないと結婚に結びつかないと考える。	【新たに追加します】 子育て支援の具体施策は近隣市町に比べ充実させておりますので、作戦 2 の子育て支援の中で取り組むとともに、企業に対しては、施策 3-1-3 作戦 3 を新たに追加し、働きやすい職場づくりの支援を進めてまいります。
1-1-1	婚活支援について、出会い場をつくるから結婚できるものではない。結婚できない根本的な理由を当事者に聞き、もっと意見を出さないとせっかく支援しようとハードができて、中に入る当事者の気持ちが動かないと結婚に繋がらないと考える。	貴重なご意見として承ります。今後、主な取組を具体化する中でしっかり取り組んでまいります。
1-1-1	結婚に対する考え方や家庭を持つ必要性や楽しさを若者達に理解してもらえようような働きかけが必要。	貴重なご意見として承ります。今後、主な取組を具体化する中でしっかり取り組んでまいります。
1-1-1	婚活支援は、未婚者の結婚意識を詳細に調査して、結婚に結び付く具体的な支援とは何か、もっと丁寧に検討する必要があると思います。出会いの場を与えると、民間のビジネスモデルを利用するだけでなく、政策面にも着眼した婚活支援をもう少し模索してみても良いのではと思います。また、SNS の時代に入り、若者の傾向は出会いの場に出向いて相手を探すという時代でなくなってきた気がします。気恥ずかしいとか抵抗があるといった声もききますので、もはや古いスタイルと言わざるを得ない婚活イベントなどについては、効果のほどを検証し、効果がなければ思い切った方向転換をしても良いのではないかと思います。	貴重なご意見として承ります。今後、主な取組を具体化する中でしっかり取り組んでまいります。

施策番号	審議会における意見	調整内容（回答）
1-1-1	<p>伊豆市内に拠点を置く法人の育児支援制度を助成したり、インセンティブを付与する仕組みづくりや、新婚世帯や育児世帯を市ぐるみで支援し、結婚しないより、又は結婚して他の市町に暮らすより、結婚して伊豆市に定住する方が幸せだと選択させる政策が必要だと思います。</p> <p>住宅や住宅用地を取得した時だけでなく、結婚して子供が〇〇才になるまでは何等かの形で育児負担を軽くするとか、伊豆市では不妊治療に専念する夫婦を積極的に支援するなど。</p>	<p>【主な取組を具体化する中で検討していきます】</p> <p>作戦 3「伊豆市のよさを発信するプロモーション」のPRで対応してまいりたいと思います。</p> <p>また、「子育て×事業所支援」の制度設計については、担当課にも説明しましたので、今後、主な取組を具体化する中でしっかり取り組んでまいります。</p>
1-1-1	<p>作戦2「育てて育つ」のキャッチが弱い気がしました。「育つ」のは、ママや親や支援者が育つだけでなく、「伊豆市が育たない」と。「育てて伊豆市まるごと幸せになる」というようなメッセージ性をもって当事者だけでなく市民全体で向き合う（向き合っていたく）ように施策の工夫が必要だと思います。</p> <p>働くお母さんへの理解や協力を市内事業所に呼びかけるだけでは効果はないと思います。当事者も、行政も、事業者も、少子化対策を死ぬ気で行うという覚悟を共有できるような、具体的施策をもう少し検討する余地があるように思います。</p>	<p>【主な取組を具体化する中で検討していきます】</p> <p>子育て支援の具体施策は近隣市町に比べ充実させており、伊豆市の施策の工夫が分かるよう、作戦 2の子育て支援を具体化する中で、さらに取り組んでまいります。</p>
1-1-1	<p>子育て世代の両親が休みを取り、子どもと一緒に過ごす時間が増えるような育てやすい社会にしてほしい。</p> <p>特に、男性の育児休暇は進められているものの、やはり休みにくいという現状もあるため、そのような社会へ変えていけると良い。</p>	<p>貴重なご意見として承ります。</p> <p>今後、主な取組を具体化する中でしっかり取り組んでまいります。</p>

施策番号	審議会における意見	調整内容（回答）
1-1-1	<p>婚活の取組はやり方が良くないと考える。伊豆市で婚活パーティを開催しても、伊豆市の人間は恥ずかしくて来ないと思う。3市1町のイベントとして開催できれば自分の好きな人を見つけられる可能性がある。伊豆市に住まなくても良いから結婚だけはしてくださいというイベントにした方が良い。伊豆市の人間はシャイなので、身内で集まると、もしプロポーズして断られたらみっともないという話になる。若い人のシャイなところを加味し、内緒で集まれる場にした方がよいと思う。</p> <p>今の教育は、「男性は男らしくしてはいけない」、「女性は女らしくしてはいけない」という風潮になっている。そのため、男子は草食系になり、女性にアプローチする機会が減少したように感じる。男性は積極的でなければいけないという考えを教えていかないと結婚もしないのではないかと考える。</p>	<p>【主な取組を具体化の中で検討していきます】</p> <p>伊豆市直営の婚活支援についてはやめた上で今回、婚活事業者や県との連携という新たな取り組みを行ってまいります。</p> <p>また、コロナ禍で中止になった経緯がありますが、三島市、函南町、伊豆の国市との広域で消防団の婚活企画を進めておりましたので、このような広域的な取組を今後も進めてまいります。</p>
1-1-1	<p>「伊豆市のよさを発信するプロモーション」は、力を入れると良い。また、SNSの有効活用などについては、高校生や若者が拡散し、伊豆市の代わりに取組むのも一つの手だと考える。</p>	<p>【主な取組を具体化の中で検討していきます】</p> <p>作戦3「伊豆のよさを発信するプロモーション」に、SNSの有効活用について記載しています。</p> <p>高校生や若者を含め、市民と一緒に発信できる仕掛けを作りたいと思います。</p>
1-1-2 計画書 P34～35	<p>市民と共有したいありがたい姿について、「足もとにある地域の豊かさ」が漠然としているので、もう少し具体的な言葉で示されるとよいと思います。</p>	<p>【次のとおり修正します】</p> <p>「<u>都会・街中にはない地域の人や自然の豊かさ</u>といった魅力に気づき「伊豆市に住みたい」と選ばれる」という表現で修正しました。</p>
1-2-1 計画書 P36～37	<p>市民と共有したいありがたい姿について、「伊豆市ならではの教育の特色」が漠然としているので、もう少し具体的な言葉で示されるとよいと思います。</p>	<p>【次のとおり修正します】</p> <p>伊豆市では7名のALTによる英語教育や一人一台PC導入によるICT教育を進めていることから、「<u>英語やICT教育</u>など伊豆市ならではの教育の特色」という表現に修正しました。</p>

施策番号	審議会における意見	調整内容（回答）
1-2-1	中学校で子どもの数が少ないため、部活ができず、活気が少なく、寂しく感じる。賑やかな学校になるといいなと思う。	<p>【主な取組を具体化する中で検討していきます】</p> <p>市民と共有したいありがたい姿に、「部活動にいきいきと打ち込める環境がある」と記載しています。新中学校建設を機に、活気のある学校づくりを目指します。</p>
1-2-1	全てを救うものは愛である。「これが好きだから、このために何かをしよう」という気持ちはその者を救ってくれるのではないかと考える。それを成し遂げるために、一番大切なことは教育だと思う。「自分は何ができるのか」、「伊豆市を愛する子どもを育てることはどうしたらよいか」等を考え、素晴らしい子どもを育てる教育が進められれば、ある程度、色々な課題が解決するのではないかと思う。	<p>【主な取組を具体化する中で検討していきます】</p> <p>市民と共有したいありがたい姿に、「知・徳・体がしっかり磨かれ、生きる力」が育まれると記載しています。</p> <p>児童生徒の主体的・対話的な学びを尊重するとともに、多様な価値観の理解、自ら課題を設定していく能力の取得を目指します。</p>
1-2-1	子育てを支援してその子たちをどのように育てるのか、将来伊豆市のためになる人を育てるのではなく、世界に送り出す子を育てるという考え方をしてはどうか。世界で活躍する人が「静岡県の伊豆市からここに来た」ということを宣伝してもらえれば良いと思う。	<p>貴重なご意見として承ります。</p> <p>今後、主な取組を具体化する中でしっかり取り組んでまいります。</p>
1-2-1 1-2-2 計画書 P36～37 P38～39	新中学校は特色ある制度を取り入れ、近隣からの入学が出来るようにする。	<p>特色ある取組の一つになるよう、ITを活用した教育（=EdTech）の実証実験等を進めてまいります。</p> <p>このような教育の特色を展開してまいりたいと考えています。</p>
1-2-2 計画書 P38～39	土肥地区は、小中一貫校の生徒にボランティアで行事に参加してもらっており、そのような経験が、将来の福祉の担い手育成にも繋がる。伊豆市内には障害者施設や高齢者施設も多くあるので、交流を通じて高齢者を活かし、施設を活用してもらえると良いと考える。	<p>【主な取組を具体化する中で検討していきます】</p> <p>作戦1に「子どもたちが通いたくなる魅力ある学校づくり」の主な取組として「地域や外部講師と連携した教育の推進」を記載しています。</p> <p>障がい者施設や高齢者施設などの連携の充実を検討してまいります。</p>

施策番号	審議会における意見	調整内容（回答）
1-2-2	3年後に新中学校ができ、10年後になると、たくさん子ども達が近隣から中学校に通ってもらえる学校になると良い。	【主な取組を具体化の中で検討していきます】 子どもたちが通いたくなる魅力ある学校づくりを行い、たくさん子ども達が通ってもらえるよう進めます。

【重点目標 2】安全で心地よい生活環境の創出

施策番号	審議会における意見	調整内容
2-1-1 計画書 P44～45	市民と共有したいありたい姿について、「豊かなコミュニティ」が漠然としているので、もう少し具体的な言葉で示されるとよいと思います。	【次のとおり修正します】 「思いやりの気持ちが市民に浸透し、主体的な助け合い・支えあい が地域の中で行われている」という表現に修正しました。
2-1-1 2-1-2 計画書 P44～45 P46～47	高齢者を大事にするまちになってほしい。医療や福祉について重点を置いた方がよい。高齢者が増えれば、介護など人も物も必要になってくるため、産業も発展する可能性がある。そこに力をいれたらと思う。	【新たに追加します】 高齢者を大事にする姿は子育て世代にとっても将来の姿でありますので、間接的な子育て支援策になりうると思います。そのため、もともと高齢者施策は充実していますが、それを生かす高齢者を大事にするプロモーションも新たな取り組みとして追加し（1-1-1 作成3に追加）、取組んでまいりたいと考えています。 政策 2-1「福祉・医療の充実」に記載しており、地域の実情に応じた福祉活動の充実や地域医療体制の強化を進めていきます。 その上で産業振興にも寄与できるよう施策 3-1-3 を新設し、「企業誘致や雇用創出に向けた取り組みの強化」との連携も図ります。
2-2-1 計画書 P48～49	「災害などリスクに強いまちづくり」について、土肥だけでなく、伊豆市全体に広め、色々な場所にハザードマップや避難経路などの紙を貼る等、災害に力を入れた方がよいと思う。	【主な取組を具体化の中で検討していきます】 市民と共有したいありたい姿に、「市民一人ひとりの防災意識が高く維持され、有事の際にとるべき行動の理解が浸透している」と記載しています。

		このような姿を実現するため、土肥地区だけでなく、全市的に防災・減災対策を進めていきます。
2-2-1	同報無線は、私の住むところは全く聞こえません。(原因は音量に対する苦情があったと聞いています) 現下の災害頻発の中、「聞こえなかった」では、安全確保は遠く及ばないと思います。発災の恐れがあるような大雨などではどんなに耳を澄ませてみても聞こえないのが現実ですが、伝わらなければ伝えてないのと同じことだと思います。また伊豆市の情報メールを受信できる方ばかりではないので「なにがなんでも伝える方法」を何か講じる必要があると思います。	<p>【主な取組を具体化の中で検討していきます】</p> <p>作戦1の主な取組で、「防災行政無線のデジタル化」を記載しています。これまでのアナログ無線では、情報が届かないエリアが生じておりましたが、今回のデジタル化により情報がしっかり届くよう整備を進めてまいります。</p>
2-2-2 計画書 P50～51	市民と共有したいありがたい姿について、「何気ない行動」が漠然としているので、もう少し具体的な言葉で示されるとよいと思います。	<p>【次のとおり修正します】</p> <p>「市民一人ひとりが日ごろから環境にやさしい取り組みをおこなっている」という表現に修正しました。</p>
2-2-2	伊豆市は、そのままの自然が残っていることが良いことと思うが、現在、鹿に荒らされてしまっている。鹿の対策が進められれば、山の再生が進むと思う。	<p>【主な取組を具体化の中で検討していきます】</p> <p>作戦3で有害鳥獣害対策について記載しており、美しい里山の保全に向けて本対策の推進を進めていきます。</p>

【重点目標3】産業力の強化

施策番号	審議会における意見	調整内容
3-1-1 計画書 P56～57	中学校が新しくなることで自転車部を作っていただきたい。	<p>【主な取組を具体化の中で検討していきます】</p> <p>市民と共有したいありがたい姿に、「東京2020大会後も自転車競技が積極的に行われ、にぎわいが生まれる」と記載しています。まずは初動として、伊豆総合高校の自転車部と連携し、中学生の参加を促す等、自転車に関わる機会づくりを進めてまいります。</p>

施策番号	審議会における意見	調整内容
3-1-2 計画書 P58～59	民生委員の視察で群馬県の道の駅「川場田園プラザ」へ行ったが、施設も広く、観光バスもたくさん来ており、なぜこんなに人も呼べるのかと思った。農産物やお店も沢山あり充実している。伊豆市も月ヶ瀬に道の駅ができ、梅やわさびなどの資源はある。上手く人を呼べるようなことができると良いと思う。	<p>【主な取組を具体化する中で検討していきます】</p> <p>市民と共有したいありがたい姿に、「多くの観光客が訪れ、交流し、満足度の高い観光地となっている」と記載しており、そのために、作戦1「地域資源の観光への活用」を掲げています。</p> <p>本市ならではの地域資源を再発掘・再構築し、観光客の満足度とリピート率の向上を図ります。</p>
3-1-2	<p>伊豆市版 DMO 事業は、修善寺地区に的を絞っているのかなと思いましたが、対象は伊豆市内全域の観光拠点と理解してよいのでしょうか？</p> <p>また、3-1-2 のありがたい姿の欄では、市民が主体となって地域づくりを行うとありますが、主体となる市民は、観光関係者のみなのか否かなど、DMO 自体が一般には耳なじまない言葉であることをふまえて、仕組みや組織などについても少しわかりやすく注釈をいただくと助かります。</p>	<p>伊豆市内全域を対象としています。</p> <p>また、観光は裾野の広い産業で、いろいろな方の関わりが大切ですので、観光関係者だけでなく、市民が主体となる形を想定しております。</p> <p>DMO の説明については、重点目標3の説明ページ(P22)で最初に出てきており、そこで注釈をいれております。</p>
3-1-2	また、作戦1に記載されている説明ならびに主な取組について、資料編に記載されている事項がいまひとつ具体的なイメージがわきませんでした。もう一層、具体的な手法などについて展開し、現在取り組んでいる事項など例をふまえて記載していただいた方が、審議しやすくなると思います。	<p>【次のとおり修正します】</p> <p>主な取組の「地域資源コンテンツの造成」を「伊豆市固有の魅力的な地域資源を活用した観光コンテンツづくり」に修正させていただきます。</p> <p>また、資料編に、具体的な内容を追記して対応いたします。</p>
3-1-3 計画書 P60～61	看護師の募集をしているが集まらない。病院で奨学金出し、PRしても働きに来る人が来ない。その問題を考えることが大切であると思う。	<p>【新たに追加します】</p> <p>作戦3に「安定した雇用の創出」を追加しました。</p> <p>市内企業の雇用マッチングを図る支援を進めてまいります。</p> <p>また、まち・ひと・しごと創生総合戦略に「働く場の確保と雇用マッチングプロジェクト」を掲げて</p>

施策番号	審議会における意見	調整内容
		おり、関連計画と連携して進めてまいります。
3-1-3	条件の良い求人を出しても、申込が来ない。求人の方でサポートしていただきたい。	伊豆市移住・定住応援サイト「いずぐらし」に求人情報を掲載しておりますので、移住者に見ていただけるよう情報発信の充実を進めてまいります。
3-1-3	子どもは大学に行く際、県外に行く場合が多く、また、Uターンしたくても仕事がないという点がネックになるかと思う。伊豆市に若者のできる仕事があると良い。	貴重なご意見として承ります。今後、主な取組を具体化する中でしっかり取り組んでまいります。
3-1-3	人を育てる環境を作ると良いと考える。例えば、専門職大学や保育・看護等の学校を設立することで大きく変わる。保育士や看護師の専門知識は、勉強したくて外から来ると思うため、若者を取り込む方法を進めていただきたい。 また、新中学校が建設されるので、その際に空く中学校の活用方法として考えられるのではと考える。	「新たに追加します」 長期的な視点で、若者を取り込み、移住定住につながる施策が必要であると認識しております。 施策4-1-2における「Izu Connect」を場としたマッチング支援や施策3-1-3における「雇用マッチング」等の横断的な取組により、若者を取り込む方法を検討してまいりたいと思います。
3-2-1 計画書 P62～63	休耕地が多く、そこで何かできないかと思う。土地付きの住宅など移住の方が来られる仕組みがあると良いと思う。	【主な取組を具体化の中で検討していきます】 作戦1「移住・定住につながる身近な農業の創出」に記載しており、農地付き空き家の提供の実現を進めていきます。

【重点目標4】まちへの誇りの醸成とブランド力の向上

施策番号	審議会における意見	調整内容
4-1-1 計画書 P70～71	今後、友達を何人か呼び、何か面白いことができないか考えている。「こんなことあんなことしたい」と思うことがあるので、そういった場が残っている伊豆市でありたい。	【主な取組を具体化の中で検討していきます】 市民と共有したいありたい姿に、「伊豆市を好きな人がつながり、多様なアクションを行うことで、まちの活力や魅力UPにつながっている」と記載しており、作戦1の取組を通じて、市民による様々

施策番号	審議会における意見	調整内容
		なまちづくり活動ができる場を支援します。
4-1-1	<p>主な取組、まちづくりや愛着醸成のための職員研修の継続とありますが、職員だけでなく、広く伊豆市の大人や学生を対象として、まちづくりや愛着醸成のためだけでなく、新時代に必要な知識や、倫理観を養う勉強会のようなものを定期的実施することができたらよいなど思っています。</p> <p>というのは、進む IT 化を一つの要因として、世代間の意識格差が広がる一方となってしまう、このまま放っておけば、変容する若年層の生活様式や時代が要請する行動様式などへの対応も困難になり、何をやるにせよそれぞれの年齢層に存在する意識レベルの違いのために、進む方向も定まらなかつたり、エネルギーも集約できなかつたり迷走しかねないと感じるからです。</p> <p>複雑化する犯罪、複雑化する情報入手や利用方法、進むであろうオンライン診療（コロナワクチン WEB 予約も然り）など、自身の生活のために最低限必要なこともおぼつかなくなるばかりか、すでに存在する若年層との価値観やスピード感もますます広がり、これが人をつなぐことへの足かせになりはしないかと感じています。逆に若年層が学ぶべき知識や経験、道徳感なども、習得機会を失いつつあり、これが互いに「理解不能」と簡単にかたづけられているのではないかと日々感じています。</p> <p>市民の多くは日々、育児や介護、農地の管理、仕事と通勤、地域の業務など担い手が少ないためすべてをこなさなければならない状態にあり、視野の広がりも多様な価値観の輸入も限定的になってしまうと思います。また、退職後、社会との接点が薄くなると時事や情勢と疎遠になりやすく、老齢になればなるほど</p>	<p>貴重なご意見として承ります。</p> <p>今後、主な取組を具体化する中でしっかり取り組んでまいります。</p>

施策番号	審議会における意見	調整内容
	<p>変化への対応が遅れ、ゆえに他の世代の考え方や社会のニーズなどに対し受容できなくなってしまうと感じています。また、日々報じられる弱者いじめやゴミ問題、動物愛護問題など、道徳・倫理違反のような事例が後を絶たず、自己中心的で己のために他を追いやったり、公益に反する行為が報じられ続けていると、道徳観が鈍化し、子供や若者たち健全な精神を維持せよといっても無理な相談だと感じます。地味で時間のかかることではありますが、伊豆市民のあたたかさや愛の深さを損なうことなく、学ぶ姿勢を持ち続け高い良識あるまちになって、若いも若きも移住者の皆さんも幸福度を高めていくことができたとしても素敵だなと思います。(本項に該当する事項か、どのカテゴリーにあたるのか迷いましたが、ここで記載しておきます)</p>	
4-1-1	<p>「これについては、伊豆市は凄いいぞ」というものがないと人が集まるのは難しいのではないかと思う。伊豆市の財産は何かを見直し、全面に押し出していくことが伊豆市の生きていく方向ではないかと思う。</p>	<p>【主な取組を具体化の中で検討していきます】 作戦2「地域づくりのためのヒト・モノ・コトの発掘」で記載しており、地域の魅力向上を図ります。</p>
4-1-2 計画書 P72～73	<p>伊豆市の人口について、友達を一人伊豆市に連れてくれば、人口は倍になる。本当に移住して伊豆市が良かったという人が、また一人連れてくれると良い。型にはまった生き方でなく、一人ひとり自由な生き方ができ、楽しんで、友達を連れて来られるとよい。 伊豆市らしさを全面的に出し、「伊豆市のこの部分が気に入ったから移住してきた」という目的を持った方が来てほしい。</p>	<p>【主な取組を具体化の中で検討していきます】 市民と共有したいありたい姿に、「本市のファンや関係人口が増え、将来の移住・定住につながっている」と記載しています。 「Izu Connect」を場とした地域とのかかわりを支援し、伊豆市への移住につなげます。</p>
4-1-2	<p>市民と共有したいありたい姿について、「Izu Connect」やふるさと納税・・・⇒「Izu Connect」の言葉自体が市民に理解されているか疑問なので、分かりやすい言葉を使ってもらいたい。</p>	<p>施策 4-1-1 (P36) で「Izu Connect」の注釈を入れて解説しております。</p>

施策番号	審議会における意見	調整内容
4-1-2	市内の別荘地のライフラインを整備すれば、高齢者の移住を促せると思う。	【主な取組を具体化の中で検討していきます】 作戦 2「空き家・空き別荘の有効活用」で別荘地について記載しています。テレワークや二拠点居住なども視野に上手な活用方法を検討したいと考えております。
4-1-2	コロナ禍もあり、いわゆるスローライフを求めて、田舎に定住を試みる人が増えてきたと報じられていますが、結果的に“スローライフはスローじゃなかった”とわかり、また都会に逆戻りというケースもあると聞きました。 移住・定住を促進するため、現実とのミスマッチを防ぐため、メリットもデメリットもありのままに発信する必要があり、また、障壁となっている問題に対し、実際に解決を支援する機関を設置するとよいのかなと思います。	本年度、市役所では「地域づくり課」を新設しました。 市民による様々なまちづくり活動への支援や地域コミュニティの核づくり、地域で活躍する人材育成等に取り組むために設けた課でありますので、このようなご意見に対応していきたいと思っております。
4-1-2	どのような人に来てもらいたいのか、そしてどのような町にするのか考えることが大切である。	【主な取組を具体化の中で検討していきます】 市民と共有したいありたい姿に、「本市のファンや関係人口が増え、将来の移住・定住につながっている」と記載しています。 作戦 1 で記載しているように、「Izu Connect」を通じて交流を望む市外の方と繋がり、まちづくり活動の側面支援をしてくれる人材や将来的な移住・定住につなげていきます。
4-2-2 計画書 P76～77	ふるさと学級では、市内児童だけでなく、市外児童との交流機会を増やしながら行ってもよいのではないかと思います。伊豆市の人々との交流や伊豆市の豊かな自然を通して将来第二の故郷として思慕されるようになれば、いつか必ず伊豆市にとって良い縁をもたらしてくれるのではないかと思います。	【主な取組を具体化の中で検討していきます】 市外児童との交流については、神奈川県平塚市と友好都市提携を結んでおり、そのような繋がりも活かして段階的に交流機会を増やしていきたいと考えております。

施策番号	審議会における意見	調整内容
	子供たちが多種多様な人たちあるいはまた諸外国の人々などとの交流をきっかけとし、互いに多様な視点を養いあうことは今最も必要とされる教育の在り方だと思いますので、時代を生き将来を担う子供たちのために、伊豆市がより実践的で未来志向的な教育を行い、あるいはまたそれによって伊豆市が教育界をリードしていく存在になったら素敵だと思います。	
4-2-2	教育は成人するまででなく、生涯教育であるという視点が必要かと思う。	<p>【主な取組を具体化の中で検討していきます】</p> <p>作戦1の社会教育事業の中で生涯教育が充実するよう進めてまいります。</p>

【重点目標5】魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保

施策番号	審議会における意見	調整内容
5 計画書 P80～89	将来の生活が不安なので、早いうちに駅の近くに引っ越していきたいと考える時もある。そうならざるを得ない環境を変えて欲しいと思う。魅力のある町でずっと最後まで暮らせればと思う。	<p>【主な取組を具体化の中で検討していきます】</p> <p>重点目標5の基本方針として、「暮らし続けられるまちづくり」を記載しています。</p> <p>交通環境の不便さを理由に転出されないよう、施策5-2-2「地域交通の維持」を推進していきます。</p>
5	月ヶ瀬インターができ、住んでいる環境が良くなったと感じている。今後、下田の方まで行けるようにしていただきたい。	<p>【主な取組を具体化の中で検討していきます】</p> <p>重点目標5の基本方針として、「暮らし続けられるまちづくり」に伊豆縦貫道自動車道の南進や基幹道路などの整備により、総合的な交通体系の構築について記載しています。</p>
5-1-1 計画書 P82～83	修善寺は閉店した空き店舗が多い。シャッターが開き、そこで各々やりたいことが実現し、活性化できると良いと思う。	<p>【主な取組を具体化の中で検討していきます】</p> <p>作戦1「修善寺駅周辺整備」で、個性的なショップづくりや空き店舗の活用について記載しております。</p>

施策番号	審議会における意見	調整内容
5-1-1	<p>修善寺駅界隈をよりにぎわいあふれる場とするために、ぶらぶら歩きまわれるような景観整備を進めてほしいと思います。歩道の色調整備やできれば無電柱化、空き店舗の解消や緑地整備、河川敷の美観整備など（参照：国交省「居心地がよく歩きたくなるまちなか」）サイクリストやランナーが走り、木々の下で余暇を楽しんだり、テイクアウトのコーヒーで読書、日光浴、といった解放感を感じられる公園もしくは園路整備を行い、市民が心地よいと感じるまちなかを創出することで、修善寺温泉場とはまた一味違った対照的なにぎわいが創出されるといいなと思います。</p> <p>また、伊豆市内の美しい河川で、呼び物となるあらたなレジャー（ラフティングや川下りなど）はできないものかと思うことがあります（鮎見橋上流部の大見川など）</p>	<p>【主な取組を具体化する中で検討していきます】</p> <p>作戦 1「修善寺駅周辺整備」で、進めてまいります。</p> <p>また、景観については、伊豆市景観まちづくり重点地区として「修善寺駅前地区の景観まちづくり計画」を策定しましたので、本関連計画と連動して進めてまいります。</p>
5-1-1	<p>市内の狩野川本支流では親水公園的な機能をもつ公園があまりなく、せっかく風光明媚で美しい河川がありながらその資源を有効に生かし切れていない気もしています。</p>	<p>河川については県の管理となっているため、県と連携して検討を進めてまいります。</p>
5-1-2 計画書 P84～85	<p>牧之郷について、店舗や道路拡幅など住宅以外の環境整備を進めていただきたい。</p>	<p>【主な取組を具体化する中で検討していきます】</p> <p>作戦 1「移住・定住を促す牧之郷駅周辺」を記載しています。</p> <p>現在牧之郷地区計画を策定したので、その中で検討してまいります。</p> <p>また、道路は県道になるため、県と連携して検討してまいります</p>

施策番号	審議会における意見	調整内容
5-1-2	牧之郷について、住宅ができているが歩道も横断歩道もない状態である。せっかく線引きを外して宅地を増やしてくれたので、今後交通関係の対策は考えた方がよい。	【主な取組を具体化する中で検討していきます】 作戦 1「移住・定住を促す牧之郷駅周辺」に記載していますので、その中で検討してまいります。
5-2-1 計画書 P86～87	現在市内には 8 つの地域づくり協議会があり、それぞれ頑張っているため、ぜひ PR していただきたい。	【主な取組を具体化する中で検討していきます】 作戦 1「地域づくり協議会の活動支援と運用見直し」で、特色ある地域活動の支援や自立に向けた支援について記載していますので、その中で協議会の PR についても検討してまいります。
5-2-1	地域づくり協議会の設立支援 地域づくり協議会の自立に向けた支援 ⇒是非とも、上にある 2 点を推進していただきたい。(意見です)	貴重なご意見として承ります。
5-2-2 計画書 P88～89	免許を返納した後の移動手段。また、子ども家族が U ターンするが、給料が低いため車を 2 台持たず、免許を持っていても車がないため、外に出られない小さい子を持つ母親の移動手段も課題と考える。このような課題をリンクさせた交通施策ができると良い。	【主な取組を具体化する中で検討していきます】 作戦 2「地域の実情に応じた住民相互の支援による足の確保」に記載しておりますので、地域づくり協議会や交通事業者と連携し、対応策の検討を促進してまいります。

【重点目標 6】将来にわたる安全的な財政運営の堅持

施策番号	審議会における意見	調整内容
6-2-1 計画書 P98～99	「未利用施設や老朽化した公共施設、借地などが解消され、適正に維持管理されている」 ⇒「未利用施設や老朽化した公共施設、借地などの解消を市民も痛みを分け合い進めていき、適正に維持管理されている」	【次のとおり修正します】 「未利用施設や老朽化した公共施設、借地などの解消を市民と共有しながら進めていき、適正に維持管理されている」 との表現に修正しました。

【その他】

施策番号	審議会における意見	調整内容
-	伊豆市は 10 年後、伊豆半島で人口が一番多い市であったらいいと思う。	ご意見いただいたようなまちを目指していきたいと思います。
-	全体的に、めざす姿が丁寧に書かれていました。実現したいという言葉が並んでいます。具体的に実現に向けていけるとよいと思いましたが、課題が多いので、どう市民にこの計画が浸透していけるかが、カギだと思いました。	貴重なご意見として承ります。
-	新たな実現管理方針は、視点を変え見える化を図っただけあり、とても分かりやすくなったと思います。横の連携がとりやすくなることと、スピード化が図られることを期待しています。	貴重なご意見として承ります。
-	<p>伊豆市総合計画は良く出来ていると思います。担当された職員も良く研究し、考えていることが計画案から読み取れます。しかしながら、どんなに素晴らしい計画でもそれを実行し具現化することは難しいものです、誰がどのようにしてこの計画を推進し、実行して行くかが重要なのです。</p> <p>市長、議会が強力に牽引し、行政実務者の市職員がより多くの市民を巻き込み計画を実践していかなければなりません。</p> <p>計画を進める意欲と実行力をどれだけ持っているかが必要だと思います。</p> <p>組織（市）は人によって構成されます、組織の力はこの人の能力・品格が問われます、しっかりとした組織づくりには人づくりが重要となります。</p> <p>人づくり＝教育 学校教育だけでなく組織を構成する全員の人づくりをどの様にするかとても重要な事です。</p> <p>町づくりは人づくりです、時間は掛かりますやらなければならない必須の作業です。</p> <p>伊豆市はどの方向に向かって進もうとしているのか明確な考えを示し、進んでほしいと思っています。</p>	貴重なご意見として承ります。

-	<p>すべてが素晴らしく、指摘する点はありません。本当に良く出来た資料で、感動さえ覚えてしまっています。</p> <p>あとは、どこまで実行できるかですね。この先が楽しみになってきました。</p> <p>こんなメッセージでごめんなさい。</p>	<p>貴重なご意見として承ります。</p>
---	--	-----------------------